

外出支援は喫緊の課題

公共交通の充実で市民の足の確保を

高齢化が深刻な地域こそ充実を

千葉市内の70歳以上の高齢者は10年前の1.6倍の17万人となり、通院や買い物などの外出支援は喫緊の課題です。

もりた議員は、民間バスが採算の取れない路線から都心や中心街へ移行し、地域間格差が広がっていることを指摘し、高齢者の足の確保についての市の対策をただしました。

市は「高齢者自身の外出が難しくなっている新たな状況」について、実態調査の結果を参考に「外出状況の把握に努めていく」と答えました。また、「バス路線の維持のためには、路線沿線の地域の方々のバス利用が重要」との考えを示しました。

デイサービス事業者に協力を

もりた議員は「千葉市が取り組んでいる『地域参加型コミュニティバス等支援制度』について」は、「交通手段の構築までに時間がかかる」と指摘。すでに一部のデイサービス事業者と社会福祉法人などで実施している「買い物サービス事業」への協力を呼びかけ、市の助成も行うよう求めました。

市は「社会福祉法人の意向や運営状況を把握し、支援の必要性を検討」と答えました。



社会福祉法人で実施している買い物サービス事業

農地減少の解消に有効な手法 市内の市民農園の活用を

国の基幹産業である農業を取り巻く状況は厳しく、千葉市の耕地面積は毎年減少し続けています。もりた議員は、農地減少の解消に有効な方法の一つとして「市民農園」の活用を求めました。

市は、市民農園は「農家と都市住民との交流において重要な役割を果たしている」と述べ「担い手の高齢化や後継者不足と農地の遊休化が進む中、農地の有効活用につながり、農場経営の一助となっている」と答えました。

もりた議員は、区ごとの応募状況に偏りが生じていることを指摘し、都市部の利用希望者の要望に応えると同時に、空き区画の多い区では農機具の貸出で



もりた真弓 (花見川区)

ブログは「もりた真弓」で検索



花見川区にある市民農園

利用希望者を増やすよう求めました。

市は「地区座談会の場などで市民農園の開設支援に努める」とともに「農機具の貸出方法や取り扱いなどについて、市園芸協会と協議し、園主へ提案する」と答えました。

予算化された花見川区の主な事業

- 柏井橋一橋梁の下部工事
- 亥鼻橋一既設橋の撤去工事
- 横戸町23号線一道路改良工事
- こてはし台一側溝改良工事 など

意見書・請願などへの各会派の態度

(○=賛成 ×=反対)

件名	共産党	自民党	民進 未来	公明党	ネット
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	提出	×	○	×	
国内でのオスプレイの配備撤回を求める意見書	提出	×	×	×	
「共謀罪」の新設に反対する意見書	提出	×	○	×	
子どもの社会的養護検討委員会設置条例	提案	×	×	×	×
カジノを含む統合型リゾートの候補地申請・誘致しないことを求める請願	○	×	×	×	○
就学援助の入学準備金を3月支給にすることを求める請願	○	×	×	×	○

※意見書について、市民ネットワークおよび無所属議員は、議会運営委員会に委員がないため態度表明はありません。賛成・反対が同じ場合、委員長（自民党）による採決（反対）で、共産党提出の意見書は本会議に上程されませんでした。

編集後記

今議会で、わが党議員が「福島からの自主避難者に支援の継続を」と求めました。東京電力福島第1原発事故で避難している方たちの「子どもへの影響が心配」「戻っても通える病院がない」「6年も放置した家に住めるのか」などの声を紹介しながら、事故の原因者・責任者として国と東電が責任を取るべきであり、一方的に避難指示が解除されても、戻れない現実と支援継続の必要性を訴えました。千葉市は、「市内の全自主避難者の住居は確保された」「新たな自主避難者も支援する」との常識的な対応を示しました。ところが、原発事故は終わったかのように、自主避難者は「自己責任」と言い放った今村雅弘復興相。心ない政治は許されません。

ご意見・ご要望はお気軽にどうぞ

 寺尾さとし 県議会議員 (花見川区) (3005) 49922	 佐々木ゆうき 市議会議員 (美浜区) (241) 1072	 かばさわ洋平 市議会議員 (緑区) (292) 7764	 野本信正 市議会議員 (若葉区) (237) 9068	 吉田まさよし 市議会議員 (稲毛区) (256) 5897	 もりた真弓 市議会議員 (花見川区) (250) 9609	 中村きみえ 市議会議員 (花見川区) (275) 2470	 ふくなが洋 市議会議員 (中央区) (263) 4334
---	---	--	---	---	---	---	--